

春のヤゴ調査会

2021年4月18日(日)

例年一般の参加者を募集して『ヤゴ観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)



互井氏からレクチャーを受けた後、各自、網を使ってヤゴを探しました。イトトンボのヤゴは小さい(2cm程)ので見逃さないよう注意深く探しました。



見つけたヤゴを分類し、観察。種類と頭数を確認後、元の場所に戻しました。直射日光を避けるために、葉を入れています。

アジイトトンボ



↑ ヤゴは、アオモンイトトンボのヤゴとよく似ています。アジイトトンボのほうが尾さいの幅が細いです。



↑ アジイトトンボはすでに羽化しているものが多いです。

➤ アオモンイトトンボは残念ながら見つかりませんでした。アジイトトンボより少しピークが遅いので、5月に期待！

クロスジギンヤンマ



↑ クロスジギンヤンマのヤゴ (ショウジョウトンボのヤゴを捕食！)



↑ 上から♂♀♀の抜け殻。産卵管で判断。



♂

♀



抜け殻。背中からきれいに脱皮します。

♂♀の見分け方を教えてもらいました。

➤ ヤゴの色は環境に合わせて、保護色に変化します。

春のヤゴ調査会

2021年4月18日(日)

例年一般の参加者を募集して『ヤゴ観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)

シオカラトンボ



この一匹だけが、シオカラトンボのヤゴです。
毛深いです。

シオカラトンボのヤゴ
…足が太い、頭の形が台形、背棘なし

オオシオカラトンボのヤゴ
…足が細い、頭の形が三角、背棘4~7

マルタンヤンマ



めずらしいヤゴも見つけました！



ヤゴは黒っぽくみえました。
成虫のみは高いところを高速で飛び、直角に曲がります。
♀は低いところを飛び、翅の根元は焦茶色です。

ショウジョウトンボ

シオカラトンボのヤゴ以外はショウジョウトンボのヤゴです。
アカネのヤゴに似ています。
5~7月頃成虫になります。



幼齢。観察するときは、大きいヤゴに捕食されないように、大きさ別にします。

じゅん菜池管理地内 調査結果

- | | |
|------------|-------------------|
| ①アジイトトンボ | 13 (その他 成虫 1) |
| ②クロスジギンヤンマ | 5 (その他 羽化殻2 脱皮殻2) |
| ③マルタンヤンマ | 2 (その他 脱皮殻1) |
| ④シオカラトンボ | 10 |
| ⑤ショウジョウトンボ | 31 (その他 脱皮殻5) |

他には、ヌマエビ、スジエビやコムズムシ、タニシなどの水生昆虫等が多数。